



【電力の地産地消に向けて】

皆様、いつも「みのエネ」の事業と活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。ごぞいます。

この度、みのエネでは太陽光発電の固定価格買取制度（FIT）の固定買取期間を終了したお客様の太陽光発電電源を買い取らせていただく事業を大々的にスタートさせていただきます。

その目的は、みのエネ設立当初に謳っていた「エネルギーの地産地消」を実現するためです。太陽光発電をはじめクリーンエネルギーの地産地消モデルは、いわゆるクリーンシティの実現にもつながります。

特に最近では日本も「脱炭素化社会」へ大きなかじ取りをしました。日本の脱炭素化の目標達成に貢献するためにも、美濃市でのクリーンエネルギーの自給自足を目指したいと思ひます。

さらに、エネルギーの地産地消を実現する最大の目的は、“自立して生きる事”にもつながります。

私は兼ねてより、食料とエネルギーの自給自足が出来れば“自立して生きられる強い地域”ができると考えております。人間が生きる上で必要な食料と、熱さ寒さを凌ぐためのエネルギー。それらを自給自足できれば、人間は生き残る事ができます。

それらを自給自足できる地域は、生き残る事ができる地域となります。それが安心して暮らせる地域づくりの根底ではないかと考えます。

ぜひ、皆様の太陽光発電の電源を買い取らせていただく事で、一緒に自立した地域づくりに貢献して参りましょう！

みの市民エネルギー株式会社
代表取締役 辻 晃一



太陽光<卒FIT>の地産地消！？

電力の地産地消は環境負荷を減らすための一つの手段として期待されています。例えば、昨今の日本では電気を安定供給するために、大規模発電所で大量生産をして管轄区全域に送電するという仕組みが取られています。

＼大量生産・広域送電型のままじゃダメなの？？／

◆送電ロスの問題

せっかくつくった電力も、供給先が遠ければ遠いほど送電中に電気の一部分が熱となって空中に逃げてしまうんです。

せっかく作った電気がロスしてしまうなんてもったいないですね。

そこで！！地元で作られた電気を地元で使うことで、送電の距離が短くなり送電ロスの軽減に繋げることができます。

◆災害時のリスク回避

鉄塔や送電線が地震や台風の大規模災害でダメージを受けると停電が広範囲に及んでいる、と感じたことはありませんか？？

これは被災地を中継して送電されているエリアも同時に停電してしまうことがあるからです。

そこで！！地産地消の分散型電源が注目されているんです。

ということで「卒FITの買取」も是非「みのエネ」にお任せください！

卒FIT対象者さま向けのご案内

太陽光の卒FITを
税込8.5円/kWhで
買い取らせていただきます

再生エネルギーの活用で
エネルギーの地産地消を♪

電気の地産地消は
SDGsへの取り組みです

7 2050年までに再生可能エネルギーを拡大し、世界のエネルギー需要を満たす	11 持続可能な都市と地域をつくる	12 つくもの責任 つかう責任は	13 気候変動に具体的な対策を
--	-------------------	------------------	-----------------

<お知らせ>

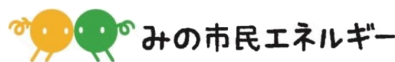
↓お申し込みはコチラ↓

電気代の請求書をペーパーレスにすると
毎月の電気代から100円割引に！



停電の際は中部電管内託送部門 0120-985-232 にお電話ください

現在のご契約件数 181件 297本 5,643kw



みの市民エネルギー株式会社 info@minoene.co.jp
美濃市上条78-7美濃市商工会議所1階 TEL 0575-31-1001